

2023年3月30日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ジャパンインベストメントアドバイザーで「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一（以下、当行））は、株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー（代表取締役 白岩直人（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション[1]（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、当社における女性管理職比率（%）の上昇目標をSPTに設定し、SPT達成状況に応じた優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。当社は、女性が管理職として活躍でき、男女ともに長く働ける職場環境を守るために、業界平均値を大幅に上回る目標値を策定しております。

【本ローンの概要】

契約締結日	2023年3月30日
金額	30億円
資金使途	運転資金

また、本契約では、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に65ヶ国以上約800機関が加盟。

以上